

CONTENTS

- 国際大卒業生 若き起業家の電子メール座談会(2面)
- 車椅子学生・ジョブサポート学生にキャンパスライフを聞く(2面)

独白

大阪国際学園

理事長 奥田吾朗

大学をはじめ、高校・中学・幼稚園も含めてこの春、本学園に総勢2303名の新生を迎えた。キャンパスを彩る木々の萌えるような新緑に負けじと、新入生たちの生々しい息吹が満ちているこの季節。生命の輝きを感じさせる彼女らと接するにつれ、改めて教育機関の責任感・使命感に駆られる。

私はこれまでたびたび、教職員に「私たちは、他でもない次代を育む教育に携わっていることを業務の第一に据えてほしい」と強調してきた。そして「未来の無限の可能性を秘めた学生・生徒ら一人ひとりを大切にしたい」ともお願いしてきた。少子化にともなう学生・生徒確保の困難が増すなかで、いたずらに奇をてらうのではなく、こころをこめて、あたりのことをあたりまえに実践していく教育機関でありたい。21世紀にふさわしい教育とは、なにか。この問いかけの答えはそう簡単ではなく、常に教職員が自らに問いつづけることこそ意味があるのかも知れない。



グローバルマインド

発行/学)大阪国際学園広報室
〒570-8555 守口市藤田町6-21-57
☎06(6902)0787(代) FAX06(6902)8961
Eメール:koho@hq.oiu.ac.jp

GLOBAL MIND IS THE SPIRIT OF OSAKA INTERNATIONAL EDUCATIONAL INSTITUTION

大阪国際大学(OIU) 大阪国際女子大学(OIUW) 大阪国際女子短期大学(OICW)
大阪国際滝井高等学校(OITH) 大阪国際大和田高等学校(OIOH)
大阪国際大和田中学校(OIOJ) 大阪国際大和田幼稚園(OIOK)

総勢2303名を迎えた 大阪国際学園入学式・入園式



国際大の青空入学式。式辞をのべる川又良也学長代理

桜前線が北上していく中、大阪国際大学を皮切りに大学・高校・中学・幼稚園の入学式・入園式が行われた。新入生たちは、希望と期待に胸を膨らませ、学園生活の第一歩を踏み出した。

春爛漫 キャンパス彩る 新入生たち

国際大の入学宣誓式は4月3日、野外ステージを会場に恒例のアメリカンカレッジスタイルで行われた。

入学者数は、大学院経営情報学専攻12名、大学院総合社会科学専攻12名、大学院総合社会科学専攻5名、学専攻6名、国際政経専攻5名、



身につけたい正しい知識を得るすべ
大阪国際大学 学長代理 川又良也(法政経学部)

大阪国際大学の全教職員・在学生を代表して心から新入生諸君に歓迎の意を表します。

本来ここで直接諸君に式辞を述べるとは、太田忠学長が体調を崩して入院されたため、私が代わって行うことになりましたが、学長のメッセージが、情報工学専攻の学長らしく、21世紀社会のインフラストラクチャー

1は情報技術がベースになるとの前提に立ち、今後本学ではまず情報教育を柱にしたいとの考えをお持ちです。そして国際大学に相応しく、語学教育をも一つの柱として、きびしく教育すべきところをきびしくして、新入生諸君の努力に期待しつつ、技術に使われるだけの人間ではない人づくり教育を目指したいとお考え

部の飯田 健さん、法政経学部の奥野健三郎さんが力強く宣誓した。

式のと、新入生は漢字学力テスト、英語学力テストを受けた。また、式には例年になく多数の保護者が参加され、大学への理解を深めてもらおうとさっそくこの日、保護者との懇談会、懇親会が行われた。

女子大・短大の入学宣誓式は4月4日、奥田メモリアルホールで行われた。新入生のほかに、たくさん保護者も参加され、約750席あるホールはぎっしり埋まった。

まず女子大の入学宣誓式。入学者数は社会コミュニケーション学科90名、国際コミュニケーション学科88名、人間健康科学学科92名、スポーツ行動学科117名(うち留学生16名)、2年次編入学生1名、人間健康科学学科1名、スポーツ行動学科4名、3年次編入学生1名、国際コミュニケーション学科9名、国際コミュニケーション学科6名、人間健康科学学科22名、スポーツ行動学科17名(うち留学生4名)の計446名。続いて短大の入学宣誓式が行われ、入学者数は家政科145名(栄養士コース43、生活文化コース102)、幼児教育科212名(保育コース163、音楽コース29)、体育コース20名、国際文化学科203名(国際ビジネスコース86、情報

社会ともいわれ、多様な思考が併存しており、そのなかで、情報するなか各局面で適切な行動をとるために必要な知識を得ることは、容易でないことも多々あります。その努力が学問的な「難しい」「判らない」「関係ない」といった正しい知識の理解のための作業を止めてしまうことは、自らを無知の状態に置くことに甘んじることにほかなりません。それでは、諸君の住むべき環境の改善など期すべくもないことは明らかです。諸君が本学に在学中努力を献うこととなく学問に励み、4年後に正しい知識を得るすべを身につけて果立たれることを祈っております。

(4月3日の国際大入学式での学長式辞要旨)

ビジネスコース90、英語コース27)の計560名。

女子大・短大とも新入生と留学生の二人で入学生宣誓を行い、これから始まる大学生活に向けての決意を述べた。

4月5日にはさっそく新入生オリエンテーションがあり、6日から7日の1泊2日で、各学科ごとの学外オリエンテーションもそれぞれ行われた。

滝井高校は4月10日、大和田中・高校は4月7日にそれぞれ入学式が行われ、緊張した面持ちの新入生が真新しい制服姿で出席した。

滝井高校は体育館で、大和田中・高校は奥田メモリアルホールで行われ、入学者数は滝井高校236名、大和田中学校40名、大和田高校243名。

新入生らはこれから始まる学校生活に、期待と不安に胸膨らませながら第一歩を踏み出した。

はつらつ園児83名入園
大和田幼稚園の入園式は4月6日に行われ、桜がきれいに咲いている園庭に元気がいい園児たちの声が響きわたった。

入園したのは年中組19名、年少組64名の計83名。例年のとく、

前理事長映像建立の募
金残金「奥田政三教育・研究基金」に組入れ

学園創立70周年を機に保護者、教職員らに呼びかけ、当初の予想を大きく上回る反響があった。奥田省吾前理事長映像建立募金、制作費を除く約12、920、000円は、とし1月、学園に学園教育・研究協力金として寄付され、その取扱いを検討していたが、3月28日の理事会で「奥田政三教育・研究基金」に組入れることを決めた。

奥田政三教育・研究基金
故奥田政三理事長の功績を記念して、遺族からの寄附金、学園からの繰入金などをとに設置された基金で、広く教育・研究の国際交流を推進し、有為な人材の啓発育成に資するもの。

「前理事長の映像建立に際しては、保護者、教職員の皆様に限らず、広範な方々から多大の浄財をお寄せいただきました。改めて厚く感謝申し上げます。おかげさまで、2体の立派な像に学園・大学の行末をあたたく見守っていただいております。なお、浄財の残りにつきましては、学園で検討いたしました結果、学生・生徒のために役立つことと「寄付された方々の」意志にもかうと思いい、「奥田政三教育・研究基金」に組入れてその充実を図ることにいたしました。これで、学生・生徒の国際交流に「層弾みがつくと期待しています。改めて感謝申し上げます。」

奥田政三教育・研究基金
故奥田政三理事長の功績を記念して、遺族からの寄附金、学園からの繰入金などをとに設置された基金で、広く教育・研究の国際交流を推進し、有為な人材の啓発育成に資するもの。

国際大
モンゴルに義援金
寒波による深刻な被害を受けているモンゴルに対し、国際大では募金活動による義援金を送ることを決めた。募金活動は国際交流センターが4月3日から13日まで展開し、大学からの補助を合わせ計100、000円をモンゴルの協定校であるウランバートル国立大学へ送金する。

国際大
モンゴルに義援金
寒波による深刻な被害を受けているモンゴルに対し、国際大では募金活動による義援金を送ることを決めた。募金活動は国際交流センターが4月3日から13日まで展開し、大学からの補助を合わせ計100、000円をモンゴルの協定校であるウランバートル国立大学へ送金する。

国際大
モンゴルに義援金
寒波による深刻な被害を受けているモンゴルに対し、国際大では募金活動による義援金を送ることを決めた。募金活動は国際交流センターが4月3日から13日まで展開し、大学からの補助を合わせ計100、000円をモンゴルの協定校であるウランバートル国立大学へ送金する。

国際大
モンゴルに義援金
寒波による深刻な被害を受けているモンゴルに対し、国際大では募金活動による義援金を送ることを決めた。募金活動は国際交流センターが4月3日から13日まで展開し、大学からの補助を合わせ計100、000円をモンゴルの協定校であるウランバートル国立大学へ送金する。

国際大
モンゴルに義援金
寒波による深刻な被害を受けているモンゴルに対し、国際大では募金活動による義援金を送ることを決めた。募金活動は国際交流センターが4月3日から13日まで展開し、大学からの補助を合わせ計100、000円をモンゴルの協定校であるウランバートル国立大学へ送金する。

国際大
モンゴルに義援金
寒波による深刻な被害を受けているモンゴルに対し、国際大では募金活動による義援金を送ることを決めた。募金活動は国際交流センターが4月3日から13日まで展開し、大学からの補助を合わせ計100、000円をモンゴルの協定校であるウランバートル国立大学へ送金する。

国際大
モンゴルに義援金
寒波による深刻な被害を受けているモンゴルに対し、国際大では募金活動による義援金を送ることを決めた。募金活動は国際交流センターが4月3日から13日まで展開し、大学からの補助を合わせ計100、000円をモンゴルの協定校であるウランバートル国立大学へ送金する。

国際大
モンゴルに義援金
寒波による深刻な被害を受けているモンゴルに対し、国際大では募金活動による義援金を送ることを決めた。募金活動は国際交流センターが4月3日から13日まで展開し、大学からの補助を合わせ計100、000円をモンゴルの協定校であるウランバートル国立大学へ送金する。

国際大
モンゴルに義援金
寒波による深刻な被害を受けているモンゴルに対し、国際大では募金活動による義援金を送ることを決めた。募金活動は国際交流センターが4月3日から13日まで展開し、大学からの補助を合わせ計100、000円をモンゴルの協定校であるウランバートル国立大学へ送金する。

国際大
モンゴルに義援金
寒波による深刻な被害を受けているモンゴルに対し、国際大では募金活動による義援金を送ることを決めた。募金活動は国際交流センターが4月3日から13日まで展開し、大学からの補助を合わせ計100、000円をモンゴルの協定校であるウランバートル国立大学へ送金する。

入学おめでとう(学長式辞)
新入生の皆さんを本学にお迎えでき、教職員ともに新たなスタートへの喜びを感じております。さて、こころに女性の社会での活躍する場が増え、また男女を問わず厳しい社会環境が続くなか、皆さんはこれから4年間の大学生活をどのように位置付けているのでしょうか。大学は多くの人々にとって最終学歴となるでしょう。したがって社会にでるとき、もしくは社会での評価の基準となることが多いのです。

しかしもう一つの見方、考え方があり、それは学ぶことは生誕くというところ。そして人間の評価は学歴ではなく、現在に至るまでの蓄積されてきた経験、知識の総和であるということです。ですから、大学生活は学びの人生のほんの一部であるということです。大学とは何か、今一つの視点でお話ししたいと思います。私は一生を通じて人は学び続けるものであり、大学生活はその一部分であると思います。

次に学生生活を迎えるにあたって、心構えについてお話をさせていただきます。人生には一つの道があります。何もなしにうちに絶対絶命のピンチに追い込まれようやく生きていくために苦しみ、そして経験を積み学んでいく道と、もう一つが自ら自分で積極的に学んでいく道です。私事になりますが父は私が27歳の時に他界いたしました。のほほんと父の加



自らの意志で道の開拓を
大阪国際女子大学・短期大学 学長 奥田吾朗

やることがあれば躊躇することなく、まず第一歩を踏み出して下さい。行動し、そして実体験することから様々な事を学んで下さい。自ら学ぼう、自ら変わろうとする気持ちで学生生活の心構えとしてこれから頑張りたいと思います。

(4月4日の女子大・短大入学式での学長のこぼれ話)



園児、保護者を前にあいさつする久保和男園長

ビデオやカメラで我が子を写すのに生懸命な保護者の姿もたくさん見受けられた。

電子メール座談会「O・U卒業生による世界を架ける若き起業家たち」 自営・起業の夢と現実

(司会)この度はご多忙の中ご協力ありがとうございます。テーマは「若き起業家」自営・起業の夢と現実。まず、自己紹介・仕事内容や現在に至る経緯について、お願いします。

(高野)高野和憲、30歳。妻一人、子ども一人です。(株)関西リビルトパーツという会社の代表取締役。自動車の解体処理・中古パーツ販売です。多分、カー用品店よりもずっと安いと思えますので利用下さい。地方発送・海外発送もOKです。

卒業後、父が経営していたこの会社に入社したのですが、2年後に父が他界したため、代表取締役に就任しました。いわゆる解体屋と呼ばれる業種で、余り良いイメージはされないことが多いのですが、この数年環境保護問題や、リサイクルブームの波に乗り、(乗せられ)日々奮闘しています。今は、大阪自動車解体連盟理事、また日本自動車リサイクル協議会の近畿ブロック代表もさせていただき、日本全国と主にアメリカ西海岸地域を飛び回っています。3Kの仕事ですが、非常にやりがいと夢のある仕事で、2000年夏には完全公害防止型工場にする予定です。(西垣)西垣 充です。会社名はSanay Media Co., Ltd. ミヤマの首都ヤングで、広告代理店業を中心に事業展開しています。①月間ビジネス誌の制作・出版②会社案内及びプロフィールの作成③プロモーション企画・手配④ミヤマ旅行手配・弊社ホームページ(http://www.sanay.com)を作成し、インターネット販売に特化しています。学生時代にミヤマを旅行した際、当地が気に入って、いつかこの地でビジネスを自分で展開したいと思いました。卒業後、内定が決まっていた会社に就職しましたが、数カ月後、ミヤマ



西垣さん。普段の仕事スタイルです

の民主化の指導者が軟禁状態から開放されるニュースを聞き、退社を決意。偶然見つけたミヤマ駐在員募集という旅行会社の新聞広告を見つけ、調査がてら面接にいくとそのまま採用され、ミヤマに赴任しました。2年間駐在し帰国命令が出るとともに会社を退社し、その同じ会社の現地スタッフとともに98年4月、ミヤマにて会社を設立し、今に至ります。

(小野)小野郷司です。現在、東京でインポートブランドショップ「I L S O L E」を営んでいます。自由が丘と町田市の東急百貨店の中、そして4月に大阪アメリカ村にもオープンしました。取り扱いアイテムはHERMES、VITTON、GUCCI、PRADA、ROLEX、CARTIER、BVLGARI、OMEGA etc.で、最近時計に力を入れています。学研の「GET NAVI」や「ブランドショッピング」などに広告を出しています。現在、スタッフは7名。今年他は4店舗出店の予定。お安くしますよ。

(司会)高野さん、西垣さんの会社のスタッフ、従業員は何人くらいですか？

(高野)従業員は現在9名(男5名、女4名)です。

(西垣)現在8名のスタッフがいます。(司会)「自分でビジネスを」ということを始めたのはいつごろですか？

(西垣)大学2年生が終わり3年生に上がる前に、1年間大学を休学してカナダに語学留学した時です。その時現地の学生に誘われ、会社と一緒に作らないか?と問われたのがきっかけです。それから意識しはじめました。現在に至る過程は、自分で切り開いてきたというよりも、偶然が重なって切り開かれ、その流れを進んでいる、という感じです。

常に前向きな姿勢で新しい方向性を見つけた

(高野)親父の死に目にあつたとき、今まで自分が受けてきた恩恵と、これから守っていかなければならない物とが、身の回りにたくさんあることを知らされ、また、これからすべきことを自分に叩きつけられたような気がしました。これまで反発していた父の偉大さを思い知らされたが、



高野さん。愛車は3台の乗用車と2台のバイク

確固たるモチベーションと大きな夢

(小野)私が自分で会社を持ちたいと思ったのは小学校の時からでした。今もある小6の文集の夢の欄に、大会社の社長になる、と書いています。就職に際しても就職先に頼らず自分の力になる(独立できる)会社を当りました。

独立というキーワードで探したのが、システム会社とコンサルティング会社で、運良くコンサルティング会社に入社でき、その中で主にヘッドハンティング業務、マイコンソフトがWINDOWSを日本に導入するときに、フオードが本格的に日本に参入するときのスクアウトなどをやっていた。そして、独立に至りました。起業で大変なのは今でもそうですが、人・物・金、そして自分に対するモチベーションを維持し続けること。

この座談会を電子メールを使って行っています。メールを使うことにより、時間と場所を超えて卒業生が出会い、話せることができました。今回は若くして社長として活躍中の3人が登場です。在学中に卒業生に刺激を与え、新たなネットワーク作りで役立つ企画を企画し、発展すればと思います。

参加者 小野郷司さん(国際大経営情報学部92年卒)
(有)フロンティア代表取締役
高野和憲さん(国際大経営情報学部92年卒)
(株)関西リビルトパーツ代表取締役
西垣 充さん(国際大経営情報学部94年卒)
Sanay Media Co., Ltd. 相談役)

約3年間必死で動き回っていました。我々の業界にも環境保護や、公害防止といった問題が取り上げられるようになり、「まずは前向きに進まなければ」と色々やっております。偶然にも様々な方面の、同じ意志を持った方々と出会う機会が増え、その方々に助けられ、今年大きな事業転換を図ることができるようになりました。「自分でビジネスを」といわれると、新しい方向性を見つけたことができて、それを進めていくべきだと気づいた今も知れません。

(西垣)私の場合パートナーに恵まれたため、設立に関してはそれほど問題ありませんでした。パートナーがある程度会社登記の役所にコネを持つことが最大の理由です。この国ではコネがなければ何もできません。ただ、設立前にタイパーツ大暴落があり、ミヤマもその影響をモロに受け、最悪の状態にあります。私が赴任した当時は、日本人会員数も400名を越えていたが、今は半減しています。そのため、ミヤマ市場でのミヤマ人、外国人企業を相手に販売をするのではなく、こちらの景気に左右されない外国在住者にターゲットを変更し、まずはホームページで旅行手配をするという事業を新たに興しました。

(高野)苦労という点については、我々の業界だけの話かもしれませんが、非常に義理・人情を重んじる方が多いので、仕事の善し悪しは当然ですが、つきあいを大事にされる方が多いようです。でも、この業界では20代の代表者は少ないので、黙っていても色々教えてくれる人が多く、仕事を引き継いで約3年間は多くの人と接し、自分の視野を広げること専念しておりました。

(司会)西垣さんから「景気に左右されない事業を新たに興した」とのお話がありましたが、不況対策として具体的に何かしておられますか？

(小野)リストラや業務縮小が不況



小野さん。写真はデジカメで鏡に写った自分を撮影

対策に含まれるとは思いますが、不況時には景気のよい時に頭を使わないといけません。ベンチャーにとって業務縮小は命取りです。弊社がとっている行動は、多店舗展開でこの不況期に2〜5坪程度の店舗

面でも1人で10店舗は見るものではないです。ただ、その面だけでなくマーケティング能力や企画能力がそれぞれ長けていますので、私にとって最高の戦力です。

他に、コンサルティング時代の人脈が非常に大きくフィナンス面やマーケティング面で協力してもらっています。独立している友人も多いので彼らも私のブレインの一部です。

(高野)自分の場合はオーナーとしての決断も苦勞のひとつかもしれません。なかなか心から話ができる相手という者がいないので、がんばって友達を作らねば！

(司会)高野さんは、業界の先輩方はライバルというようになりますか？

(高野)ライバルという点については、この業種、非常に多くあります。でも、国や人種が変わるうとも、やはり商品の品質と適正な価格を維持していれば、何とか売れる物です。何かにつけ人間関係や信頼という事、大切なことは商売にとって不可欠であり私のポリシーは全て「夢」を持つことです。

(司会)会社の方針は自分人で決めるのですか？それとも社内、社外にブレイン的な方がいるのですか？

(西垣)私の場合はミヤマでミヤマ市場相手ということもあり、まず現地パートナーに相談します。そして、学生時代にミヤマを旅行した時に出会ったミヤマ写真家の友人に相談します。ミヤマに詳しく、また人間的にも素晴らしい方で、現在の弊社ホームページも作成して頂いています。(その方のホームページはhttp://www.agetavady.comです)。

また、ミヤマの日本人社会は小さいので、大手企業の方とも気軽に付き合えます。そこで、私が若くしてこんなことをしているの、皆さん色々アドバイスしてくれます。頑張りなさい、という意味も込め仕事を頂いている感じですね。事業内容については、10年ほど前からミヤマに、来られ会社を興され成功されている日本人の方にミヤマでの経営の仕方をお話を頂いています。

(小野)今、社員として2名いますが、それぞれが非常に優秀で店舗管理

車椅子学生・ジョブサポート学生にキャンパスライフを聞く 女子大・短大友会



学内を移動する石原さん(中央)とジョブサポートの学生たち

学内施設がバリアフリー化し、ジョブサポート*の制度が確立されている女子大・短大に、昨年4月、車椅子の学生石原規久子さん(短大国際文化学科2年生)が入学し、1年が過ぎた。学友会では「キャンパスライフ紹介1」車椅子を通して」と題して、3月14日、石原さんとジョブサポート制度を活用して彼女をサポートしている学生たちに、1年間のキャンパスライフについて話を聞いた。参加したのは石原さんを始め、サポートしている学生やボランティア活動に興味を持っている学生ら約20名だった。

まず、車椅子のキャンパスライフを知るため、普段通りに学内を二階に回った。サポートしている学生からは「通りに道に自転車などがあつて大変」「エレベーターでも混んでいてなかなか乗れない」など、一般学生たちにはまだまだ

とつづきました。感謝しています」とお礼の言葉を述べ閉会となった。学友会では、年間を通じて様々な活動を行っているが、内容が固定化し、一般学生に学友会活動が理解されていないのが現状。そこで従来の大学祭の実施や課外活動補助だけでなく、学生の様々な活動や学生生活をより充実したものになれば、今回の企画を実施した。車椅子を通してのキャンパスライフを取り上げた第1回目に続き、今後あらゆる角度からキャンパスライフを紹介していく予定。

*ジョブサポート：通学しながら授業の合同を利用して、大学内でアルバイトができる制度。教員の授業準備をするなど教育関係アシスタントや、図書館・国際交流課など大学事務部門のアシスタントがある。

住所などに変更がありましたら、お手数ですが、広報室までご連絡下さい。

また、本紙に関するご意見・感想や「こんなテーマで座談会をやつてみたい」などの声をお待ちいたしております。電子メールもご利用下さい。 kono@hq.ou.ac.jp

4年住んでる経験があるだけです。ですから正攻法で戦つても勝ちはないので、ゲリラ戦で戦つていくのが現状です。必然的に新しいやり方、分野になつていきます。

(第28号へつづ)

国際大が沖縄の名校大学と単位互換協定を結ぶ

国際大は1月28日、沖縄県名護市の名校大学と単位互換協定を結んだ。他大学との単位互換協定は初めてのこと。

本学の所在する枚方市と名護市が平成9年7月に都市提携を結び、大学間の交流として協議が進められてきた。そしてこのほど、「単位互換協定」の制度が結ばれた。調印式には本学から大矢吉之教務部長、名校大学からは瀬名波榮喜副学長が出席し、協定書を交換した。

単位互換は今年4月からスタートし、2年次以上以上の学生(各学期3名以内)が、お互いに最大1年間留学して学び、交流を行う。履修登録できる単位数は、各学期20単位以内、年間40単位以内。